



CASBEE横浜2017年版v.1.4
(仮称)空間計画新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階	重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境								2.5
1 音環境				2.7	0.15	2.4	1.00	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2 遮音				3.3	0.40	2.6	0.40	-
1 開口部遮音性能				3.7	0.52	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.48	1.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	-
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.40	3.0	0.57	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.23	3.0	0.43	-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.37	-	-	-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	-
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30	-
3 光・視環境				2.3	0.25	3.8	1.00	2.8
3.1 昼光利用				2.0	0.34	4.2	0.30	-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.48	5.0	0.60	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.52	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策				1.6	0.24	3.0	0.30	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.6	1.00	3.0	1.00	-
3.3 照度				3.0	0.12	3.0	0.15	-
3.4 照明制御				3.0	0.30	5.0	0.25	-
4 空気質環境				2.6	0.25	3.2	1.00	2.8
4.1 発生源対策				3.0	0.50	3.0	0.63	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00	-
4.2 換気				1.6	0.30	3.6	0.38	-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	2.3	0.50	5.0	0.33	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.50	1.0	0.33	-
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.1	0.40	3.8	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.07	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.07	-	-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.86	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				3.3	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.6	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.9	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	4.2	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	3.4	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.4	0.30	2.2	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	1.4	0.50	-
1 階高のゆとり				5.0	0.60	1.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性				2.8	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性				2.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.4

(仮称)笠間計画新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		3.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.0		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.9		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.3	0.50	-	-	2.3		
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5		
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		2.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0		
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-	2.9		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.6	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0		
1 地球温暖化への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2		
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5		
2.1 大気汚染防止				3.6	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-		
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-		
2 振動				-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目					-	-	-	-		
<事務用途>					-	-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-		
<住宅用途>					-	-	-	-		
健康と安心					-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-		